

高级日语

(1—4) 练习参考答案

主编 吴侃 村木新次郎



W
外教社

上海外语教育出版社

高级日语

(1—4) 练习参考答案

主编 吴 侃 村木新次郎

W
外教社

上海外语教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

高级日语(1-4)练习参考答案/吴侃,(日)村

木新次郎主编. —上海:上海外语教育出版社,2005

ISBN 7-81095-164-5

I. 高… II. ①吴…②村… III. 日语—

高等学校—解题 IV. H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2004) 第 007321 号

出版发行: 上海外语教育出版社

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 应 允

印 刷: 上海长阳印刷厂

经 销: 新华书店上海发行所

开 本: 850×1168 1/32 印张 3.875 字数 93 千字

版 次: 2005 年 2 月第 1 版 2005 年 2 月第 1 次印刷

印 数: 3 500 册

书 号: ISBN 7-81095-164-5 / H · 048

定 价: 6.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

主编 吴侃 村木新次郎

编者(以姓氏笔画为序)

中方 马安东(浙江大学日语系)

王建民(上海水产大学日语系)

叶琳(南京大学日语系)

吴侃(同济大学日语系)

谈建浩(同济大学日语系)

徐曙(同济大学日语系)

魏铀原(同济大学日语系)

日方 三木麻由美(日本同志社女子大学)

田口圣子(日本同志社女子大学)

村木新次郎(日本同志社女子大学)

森下训子(日本同志社女子大学)

杨华(日本同志社女子大学)

使用说明

《高级日语》(1—4)是以大学本科日语专业3、4年级学生为对象的精读教材。由中日双方专家共同编写。本教材选材新颖、结构合理、语言规范,自出版以来,受到一致好评。本教材的练习注重实践性和实用性,力求简洁、有效,有助于学生综合素质的培养。本教材练习题的具体形式和要求为:

1. 填空。学习和掌握各类词汇,内容不限本课。
2. 完成句子。学习和掌握各种接续关系、语气、惯用搭配等,内容不限本课。
3. 回答问题。用于充分理解文章、句子内容。
4. 汉译日。用于掌握该课学习的重要单词、表达等。

为了给教材使用者提供便利,原书作者特编写了这本练习参考答案。由于练习题的答案不是绝对的和惟一的,本答案只供参考,希望读者灵活使用。

编 者
2004.8

目 次

第 1 冊	(1)
第一課	(1)
第二課	(3)
第三課	(5)
第四課	(7)
第五課	(10)
第六課	(12)
第七課	(14)
第八課	(16)
第九課	(19)
第十課	(21)
第十一課	(23)
第十二課	(25)
第 2 冊	(29)
第一課	(29)
第二課	(31)
第三課	(34)
第四課	(36)
第五課	(39)
第六課	(41)
第七課	(44)

第八課	(46)
第九課	(48)
第十課	(50)
第十一課	(53)
第十二課	(56)

第 3 冊

第一課	(59)
第二課	(61)
第三課	(63)
第四課	(65)
第五課	(68)
第六課	(72)
第七課	(75)
第八課	(78)
第九課	(81)
第十課	(84)
第十一課	(87)
第十二課	(90)

第 4 冊

第一課	(94)
第二課	(97)
第三課	(99)
第四課	(102)
第五課	(104)
第六課	(106)
第七課	(110)
第八課	(112)

第 1 冊

第 一 課

(一)

1. 大事な用件を思い出した
2. 行かないわけにもいかない
3. ほかに人より遅くなってしまった
4. 一向に成績は上がらない
5. 話を聞いたことはあります
6. よくわかりません
7. ちょっとすみません
8. おかしかった
9. 知っていた
10. いろいろと迷った末頼んでみた

(二)

1. b 2. c 3. d 4. a 5. b 6. b 7. a 8. d 9. b 10. b

(三)

1. 日本語が地域共通語となり、日本語を母語としない人々同士のコミュニケーションの手段として用いられるということ。
2. オリンピック種目に加えられ、外国選手が優勝するようになる

ったこと。

3. 元の文化から切り離され、異なった文化の人々の間で流通すること。
4. 一般に言われるのは、あいまい・非断定などを含めた婉曲表現、敬語など人間関係を配慮した表現の豊富さ、自然に関する表現の豊かさ、察しを生かした省略など。
5. 柔道やすしの例にも認められるように、文化要素というものは、ほかの文化のあいだを漂流していくうちに、国際性を獲得してゆくものである。日本語も、そういった文化要素の一つであると考えられるから。
6. 日本語だけが世界で唯一のすばらしい言語だと考えること。

(四)

1. 昨日の新聞によれば、今なお、かなりの人が、車にチャイルド・シートを着用していないという。
2. その意見について個人的には理解できるが、クラスの代表としてはそれに賛成しがたい。
3. ここまで来て、従来のやり方はだめだということだけは分かってきた。新しい方法を探っていくことに成功への鍵がある。
4. 研究開発はもちろん時間がかかる。粘り強さこそが成功への道だ。
5. 彼はあの約束をとつくの昔に忘れてしまったようだ。約束がまだ生きていることを思い起こさせる必要がある。
6. あの二人は実に気が合うようだ。ちょっとでも暇があるとすぐ「一杯いきましょう」ということになる。
7. 互いに同僚同士だから、腹の探り合いはやめて、もっと誠意を持って付き合おう。

8. 会社の発展は困難な道を辿ってきた、いわゆるいばらの道だ。これからもすべてがうまくいくとは思えないが、すでに軌道に乗っていることは間違いない。
9. 彼でもそれぐらいのことは分かるだろう。いろいろな事情からそうせざるを得ないのだ。
10. あの子もこのごろ勉強するようになってきたのだから、そう二言目には勉強しろ勉強しろと言うのはやめなさい。
11. 場合によってはもはや手後れという可能性もある。こう話している間にも事態は悪化しつつあるのだ。
12. それは本来あなたが口出しすべきことではない。あなたはあくまでも第三者にすぎないということを忘れてはならない。

第 二 課

(一)

1. 引き受けましょう(やりましょう)
2. ひっそりと暮らしている
3. やって来る(現れる)
4. 痛み出した(めまいがしている)
5. 困っているようだ
6. 一人だけの食事だから自分で作る
7. あれだけ頑張っている
8. この時間は渋滞しているから、バスに乗る
9. 川が氾濫しているから
10. こう煩わしいことが続いては

(二)

1. d 2. c 3. a 4. b 5. b 6. c 7. d 8. a 9. c 10. b

(三)

1. 屈託なくくつろいだ雰囲気。
2. 新しい住まいでの生活や人間関係などに不安があったから。
3. 家族同士のような人間関係。
4. 一人暮らしになってから生じた、自分で処理できない細々した用事の連絡や不安な気持ちがあるから。
5. 他人との付き合いなどがなく、楽しみがなく、ただ無事に老後を過ごすだけの場所。
6. ①自然環境がよい。②ゆったりした建物である。③集団生活で互いに助け合い、安心感がある。④規則正しい生活ができる。⑤他人との付き合いができ、新しい友達ができる。⑥同世代だけでなく、異世代との交流もある。

(四)

1. 旅行といっても特に計画を立てるわけではなく、行きたいと思い立ったらふらりと出かけていき、気ままに自然の景色を楽しむだけだ。
2. 単身赴任の不自由で不満の多い毎日ではあるが、子供の成長ぶりが生きる張りになっている。一日何回も子供の写真を見ては、次に会う時の様子をあれこれと想像する。
3. あまり自信がないのでそれを引き受けるかどうかためらっていたが、みんなに励まされて、思い切って引き受けることにした。
4. その計画案については回を重ね会議を開き慎重に検討中だが、遅くとも来週中には結論を出す。

5. 家具付きで家賃が五万円ほどなら、悪くないと思いますね。
みんなに一室ずつ与えてもいいくらいだ。
6. ある事件がきっかけでその弁護士と知り合いになり、それ以来、何かあると事あるごとに彼に何とかしてもらってきた。
7. さっきから寒気がしている。明日は楽しみにしているピクニックがあるし、大事を取って薬を買ってくる。
8. 彼なら話を聞くと直ぐ駆けつけてくるはずだが、まだ来ないということは何か事情があるのだろう。
9. 一日観光で四カ所回ったが、四カ所ともすばらしいところだった。やはり来てよかった。
10. お正月のたびに一家で温泉旅行をする。ゆったりと温泉に浸かっていると、この世の天国ではないかと思えてくる。

第 三 課

(一)

1. 吸いこむ
2. ファン離れを招く
3. 居眠りしがちだ
4. 十分に
5. から(にかけては)
6. すまない
7. にでも
8. もらおう
9. だめだ
10. ちょうだい

(二)

1. b 2. d 3. a 4. c 5. c 6. d 7. a 8. b 9. a 10. d

(三)

1. 発話行動の成立には、あくまで発話行為をする「裏」の目的、というのがあって、この目的を達成するためには、違った発話の「形」を取る事が多々あるからだ。
2. 人間関係への配慮をして発話したから。
3. 「依頼や希求を直接的に表現する」面で、英米人でも表現意図と表現形式の差が実在しているが、ただ日本人ほど激しくないのが一般的な認識だ。
4. 日本人の考え方の中には重要な位置を占めている、相手への思いやりがあるから。

(四)

1. あの人が邪魔しない限り、成功はそれほど難しいことではないと思う。
2. 偶々その場にいたから助けただけで、別に思い遣りのある人間というわけではない。
3. 外国語そのものは特に難しいものではなく、誰でも身につけることができる。しかし、努力しなければ身につかない。
4. そのような言い方は他人のプライドを傷つけやすいから、たとえ独り言でも十分に注意したほうがいいよ。
5. 彼が喜ぶわけだ。このまま行くと、勝利の喜びを味わう結果もありえないことではない。
6. 彼が本心からこちらを助けようとしていることがわかった。そこで、彼の好意に甘えることにした。
7. もう寝ようとする時、何となく何か忘れたことがあるような

気がした。よく考えてみると、洗濯物をまだ取り込んでいなかった。

8. 見るともなく見ると、家の裏のほうを、眼鏡をかけた四十歳ぐらいの人がうろうろしていた。
9. あ、そうだ、明日会議があった。まったく、この二、三日ほど忙しい日はない。
10. その様子を表現するのに様々な言い方があるような気がしたが、いざ口にしようとすると、なかなか適当な表現が見つからない。

第 四 課

(一)

1. 脱ぎっぱなしにしないで
2. 被害の深刻さが次第に明らかになってきた
3. その日の天気によって
4. 英語と数学の授業も始まる
5. まず立派に学生の役をつとめなければならない
6. 両親が生きていたら
7. 子供を旅行に行かせなかった
8. 用がありまして、お伺いできません
9. こんなに速いスピードを出しては
10. 太平洋側では晴れの日が続く

(二)

1. c 2. b 3. a 4. c 5. b 6. d 7. c 8. a 9. a 10. a

(三)

1. 理由として三つある。一つ目は飲食業のチェーン店がどんどん増えてどこにもあるから便利である。二つ目はそこで注文すると、すぐ出てきて早い。三つ目は材料を共同で大量に仕入れ、同じ料理を作れて、コストダウンになるから、安い。
2. 電子レンジで加熱・調理すること。できあがると、「チン」という音がすることから出てきた表現。
3. 情緒不安になったり、栄養のバランスが崩れたりしがちになる。
4. 東京・大阪・名古屋を中心とする三つの大きな都市圏を指す。
5. Xさんは工場に着くには片道1時間半かかるので、朝早く起き、家を出る。そして毎夕ほとんど残業があるので、夜遅く帰宅する。帰ってから夕食を済ませ、ちょっとテレビでも見て入浴すると、家族との団らんも文化的な楽しみもなく、寝るだけになるから。
6. Yさんは仕事の関係で帰りが遅いため、家族とのコミュニケーションが少なく、気がついてみると家庭の人間関係の中に自分の場を失っているから。

(四)

1. 不景気だから、長年にわたって会社に貢献してきた職員さえ(も)、会社を辞めさせられている。
2. 子供のころ、私はよく父に「しっかり勉強しろ」と言われた。年を取るにつれて、私も同じことを自分の子供に言うようになってきた。
3. 今年の下半期から住宅ローンの返済に加えて、子供の学費を払わなければならないので、たいへんだ。

4. 一年生にも分かりやすく身につけられるように、ごくやさしい言葉で割合に抽象的なことを説明してみたほうがいい。
5. この頃彼は勉強ぶりがとても悪く、学校に遅れることが多いばかりか、授業中、居眠りすることさえ(も)ある。そんなことをしては、いい成績をあげることはできない。
6. 同僚の張さんの話では、王さんは今回の株の暴落を契機として株式の取り引きから手を引くと決心したそうだ。
7. 外国人による日本語スピーチ・コンテストに入賞するには、出場前にいろいろな準備にかからねばならない。
8. 彼の机は散らかっている。参考書、ノート、辞書などを置きっぱなしにして片付けようともしない。そういったことには、ぜんぜん注意を払わないようだ。
9. 現代の社会、現代人を取り巻く生存環境には、公害問題や人口問題など、厄介で厳しいものがある。
10. 現在、日本国内では、どの社のパソコンもマイクロソフト社のウィンドウズを基本としていて、操作機能の上での格差はきわめてわずかだと言っていい。
11. 日本では、経済不況のせいで、会社が倒産したり、レイオフの対象になったりした時の用心に、資格を取っておこうという人が多い。
12. 日本ではこれまで、会社では「いじめ」、大学では「校内暴力」、高校では「ナイフ殺傷事件」と、おもに16歳から25歳までの青少年犯罪が多かった。しかし、今はそのような事件がだんだん低年齢化しつつあるようだ。

第五課

(一)

1. どんなことをしても疲れると言っている
2. 彼女はすぐ泣き出した
3. 彼はつまらなそうな顔をしている
4. 説明書に詳しく書いてあるから
5. 帰国した
6. この頃は誰も寄り付こうとしない
7. 旅行を許してくれない
8. もう見込みがないから
9. 朝まで一睡もすることなく
10. 続けようと思ったのに忙しくて

(二)

1. b 2. a 3. d 4. b 5. c 6. c 7. d 8. d 9. b 10. a

(三)

1. 遥か彼方の緑の陸地の方向。
2. 空中に描いたすっきりとした輪郭の外形の中。
3. 私は一行七人の男達のための税関手続き、通訳などの雑務を担当する役割だったため。
4. フレイタスという人は貿易会社の社長で、町の至る所に有力な知り合いがいて、役所の手続きから夜の飲み歩きの付き合いまで、こまめに気配りを見せ、便宜を図り、わたしたちのことを彼自身が連れ歩いたり、会社の者をわざわざ差し向けてくれたりしたから。